

じょい joy

福祉目線
のタウン情報通信

14
2026.3.22

- 特集…… P2-3
- ふくし掲示板…… P2-3
- わが町のふくし人…… P3
- 矢巾町サロン情報…… P4

じょい joy マスコット犬
じょいワン・モカちゃん



特集 福祉×地域づくりフォーラム ～みんなで考える 地域の「つながり」「支え合い」～ 民生児童委員 ～住民をつなぐ～



前回までの
じょい joy は
こちらから

表紙：西徳田1区「お元気会」の皆さんが作ったつるしびなをえんじょいセンターに飾りました。

福祉×地域づくりフォーラム

～ みんなで考える 地域の「つながり」「支え合い」～

令和8年2月19日(木)、身近な地域の支え合いの推進を目的に、多様な担い手による「地域づくり」がつながる場として、「学生・若者による地域づくり活動」をテーマに「福祉×まちづくりフォーラム」が開催されました。

いわて学生ボランティアネットワーク事務局など多方面で活躍している川原直也氏の「学生・若者による地域づくり」と題した講演の後、県内で「卓球バレー」を中心に地域活動を行う岩手大学卓球部の学生や、高齢者視点での地域づくりについて町社会福祉協議会から活動発表があり、最後にパネルディスカッションも行われました。

講師の川原氏からは、「地域づくり」について、地域は「課題解決」から始まり、学生は「私」から始まる違いがあることから、「学びたい」「趣味・特技を活かしたい」「将来の仕事につなげたい」といった動機付けで、学生の関心を引き出すことの重要性についてお話をいただきました。

矢巾町は学校が多い町で、地域に関心のある学生・若者もたくさんいます。皆さんもいつもの活動から一歩踏み込んで、一緒に楽しく活動してみませんか？



講師
川原 直也氏



民生児童委員

～住民をつなぐ～



民生児童委員とは？

民生委員は、「一人暮らしで何かあったら心配」「子育てに不安がある」「困りごとをどこに相談すれば良いかわからない」など、日々の暮らしの悩みごとや困りごとを聞いてくれる、地域の一番身近な相談相手です。民生委員は地域の皆さんの視点に立ってそれらを受け止め、意向を汲み取りながら適切な関係機関や団体へとつなぐ「パイプ役」です。

子どもや子育ての困りごとの相談にもものことから、児童委員も同時に担っていて、2つ合わせて「民生児童委員」と呼ばれます。子どもの見守りや相談により特化した「主任児童委員」もいます。

民生児童委員の守秘義務

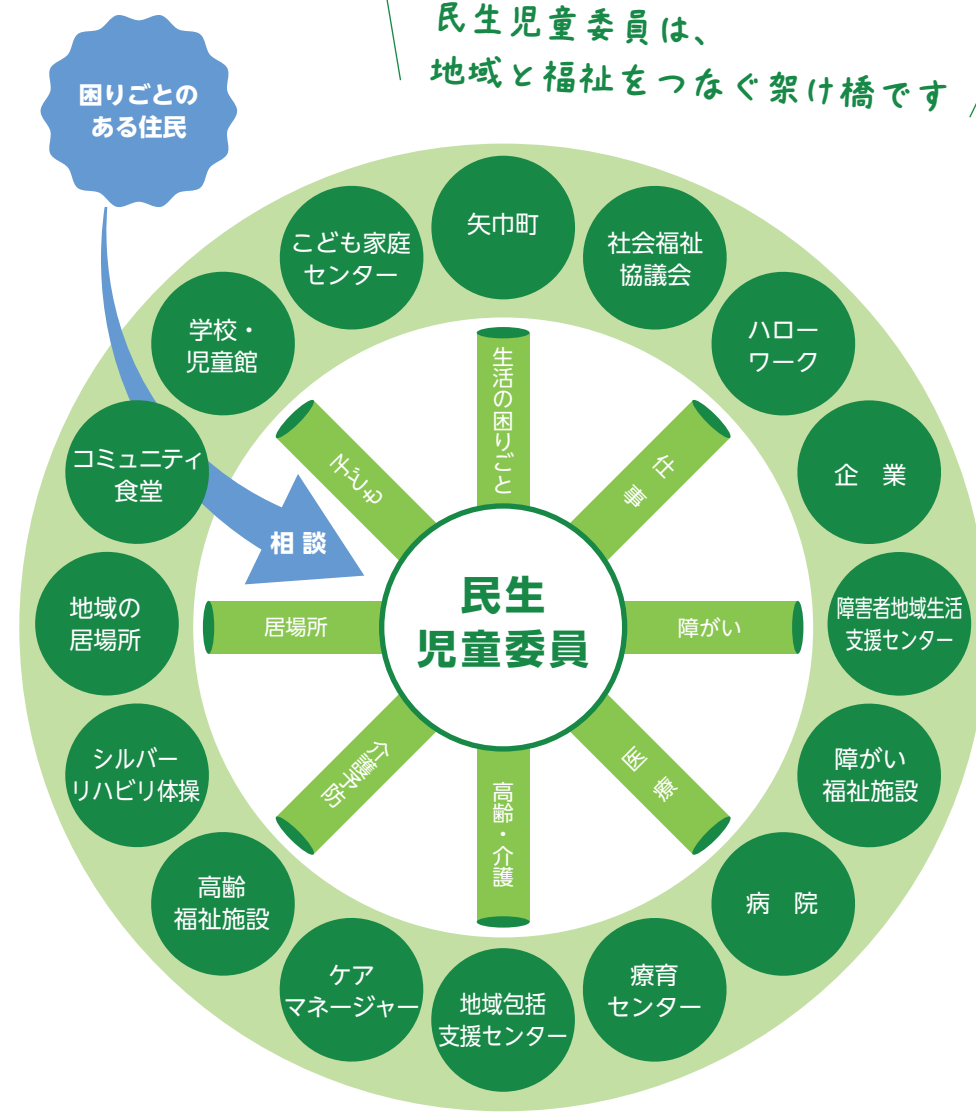
民生児童委員の活動は、町民個人の生活を深く知ることとなるため、活動上知り得た情報について「守秘義務」が課せられています。守秘義務は委員を退任した後も引き続き課せられます。このことにより相談内容の秘密は守られるので、安心してご相談ください。

あなたの地域の
民生委員さんは
コチラ



※リンク先「新民生委員の紹介」をクリック

民生児童委員は、
地域と福祉をつなぐ架け橋です



3. くし 掲示板

矢巾町民生児童委員協議会

矢巾町では令和7年12月1日に一斉改選が行われ(任期は3年)、民生児童委員54名と主任児童委員3名の57名が任命され、各地域で活動しています。この57名で構成される協議会が矢巾町民生児童委員協議会(以下「矢巾町民児協」と表記)です。民生児童委員は、コミュニティの推薦を受けて厚生労働大臣から任命される特別職の地方公務員(非常勤)ですが、公務員といっても活動に必要な交通費の一部などのみが支給される無報酬の「ボランティア」です。自分の仕事を持つ方も生業のかたわら、地域のために活動しています。

矢巾町民児協は定例で会議を開催し、住民と関係機関をつなぐ「パイプ役」として困りごと解決のお手伝いができるよう、矢巾町役場をはじめとした関係機関の必要な制度・サービスなどについて情報共有をしています。

民生児童委員の歴史

その歴史は古く、大正6年の岡山県「済世顧問制度」、大正7年の大阪府「方面委員制度」を始めとして全国に普及し、平成29年には創設100周年を迎えました。民生児童委員はその間ずっと地域を見守り続け、住民の安心につながっています。

民生児童委員さんはこんな活動もしています



※地域や民生委員それぞれの事情に合わせて活動しているため、活動内容は個人により変わります



1 サロン開催で地域のつながり作り



2 サツマイモ掘りで地域の児童館と交流



3 本をきっかけとした居場所づくり



事務局 矢巾町福祉課
連絡先 ● 019-611-2571

わが町のふくし人



藤根 千鶴 さん

平成28年より民生児童委員を務め、令和7年12月から4期目(10年目)。こびりっこサロンの代表者も担当など、様々な活動とおして地域の見守りを続けている。

地域の会長からやってみないかと声をかけられたのが、民生児童委員を始めたきっかけです。町外出身ということもあって不安な思いもありましたが、知らなかった人と知り合い、気軽に話ができる関係性を築くこともできて、やって良かったと思っています。また、地域の方が困りごとを相談してくれたり、支援機関につないで解決できたりすることも、とても嬉しく思います。

仕事のため日中は活動できない民生児童委員も増えていますが、サロン活動で住民のみなさんが仲良くなることで、互いに気を配り、見ていないように見ている「見守りの目」が増えれば良いと思っています。なにより和気あいあいと楽しく過ごしてもらえるように、今後も活動を続けていきたいです。

通いの場
体操くらぶ

下赤林体操クラブ

代表者 おがさわら なおこ
小笠原 尚子さん (前列中央)



令和7年4月にスタートした通いの場です。地域の方と顔を合わせるきっかけにもなり、コミュニケーションをとることで、心の健康にもつながっています。体操を通して日常生活の動作が楽になっています。いつまでも元気に暮らせ、健康長寿1番の地域を目指していきたいです。



活動拠点 下赤林集落センター
活動日 毎週月曜日
午前9時30分～午前10時30分
会費 なし
内容 シルバーリハビリ体操



こびりっこサロン

にこにこ楽しもう会

代表者 いとう ひろこ
伊藤 広子さん (後列右から4番目)



令和6年6月から開催し、月に一度のペースで活動を続けています。参加者しているみなさんが、様々な活動をとおして健康で「にこにこ楽しめる」ようにと、希望を聞きながら活動内容を決めています。この日は正月に向け、折り紙でポチ袋作りにチャレンジしました。



活動拠点 白沢集落センター
活動日 毎月第3木曜日 午前10:00～正午
会費 基本100円 ※イベントの際は500円
内容 ニュースポーツ、ビデオ鑑賞、カードゲーム、バーベキュー、視察・体験活動

「やはウォーク」

みんなで減らそうバリアありー



「誰もが安心して暮らせる街へ」。矢巾町障害者自立支援協議会は、誰もが安心して暮らせる共生社会を目指し、街の課題を共有する「やはウォーク」～みんなで減らそうバリアありー～を開催しました。当日は「やはぱーく」をスタート地点とし、以前、じょい joy で紹介された「やさしいお店」を巡りました。普段、何気なく歩いているだけでは気がつかない、「小さな段差」や、「傾斜」が車いすや足元が不自由な方には大きなハードルになっているのを感じました。物理的な改善には時間がかかっても、助け合いという「心のバリアフリー」で街はもっと優しくなれます。住み慣れた地域で暮らす皆様にも広く声をかけ、共に安心して暮らせる街づくりを広めていきたいです。



<高齢者にやさしいお店>大募集

町では「高齢者にやさしいお店」に登録したい店舗・企業を募集しています。登録には「認知症サポーター養成講座」の受講が必要です。講座は1時間～1時間半程度で受講料は無料です。ご登録いただいたお店はじょい joy でご紹介し、「高齢者にやさしいお店」ステッカー(右)を配布します。ぜひご活用ください。

■受講希望・お問い合わせ 矢巾町地域包括支援センター TEL 019-697-5570

